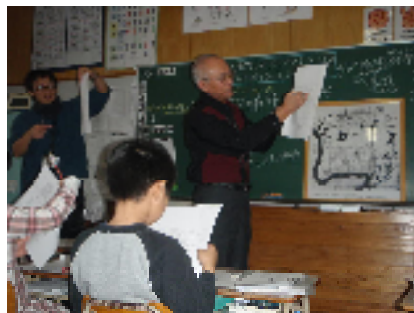


○武家屋敷の秘密

三年松組 「歴史ある刈和野 武家屋敷」グループ

ぼく達が武家屋敷について調べたいと思ったのは次のようなわけからです。

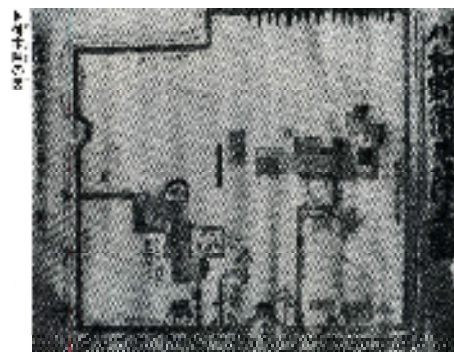
- 1 刈和野に武家屋敷があるなんて知らなかったから。
- 2 武士が好きで、武士が何をしたか知りたかったから。
- 3 武家屋敷はどこにあって、どのくらいの広さでだれが住んでいるか知りたかったから。



武家屋敷には昔の秘密がいっぱいありそうでみんなすごく楽しみにしていました。調べる方法は先生と相談して、阿部先生にお話を聞くことにしました。

武家屋敷は、今から二百八十二年前にできました。場所は、今の佐藤病院のある、内町の広小路のあたりにあったそうです。

刈和野は、おとの様が江戸にむかうとちゅうに、とまっていく場所でした。おとの様が町に来た時にとまる家を「ごほんじん」とい、その「ごほんじん」を守るためのおさむらい（武士）が住んでいた屋敷を「武家屋敷」といいます。武家屋敷の数は二十八戸で、その広さは、教室の二倍くらいでした。



武家屋敷は、今は残っていませんが、家のまわりのかきねや大きな木などが残っているそうです。阿部先生の先ぞの、阿部円六さんは、足軽で内町の外側の足軽町に住んでいたそうです。阿部先生の先ぞがさむらいなんて、おどろきでした。

はじめは、刈和野に武家屋敷なんてないと思っていましたが、本当にあつてすごくドキドキしました。しかも二十八戸もあるなんて多いと思いました。この刈和野におとの様に来ていたことやそのおとの様の名前が、「佐竹さん」ということも、はじめて知りました。

時代げきで見るようなおさむらいが刈和野にいたことや、吉田文具店の向かいの山口さんや、エノキの木のある所の軽部さんのご先ぞさん達が、武家屋敷にじっさいに住んでいたことを想像するとワクワクしてきます。ぼく達とおさむらいが、つながっている感じがしました。そして、(刈和野という所は、す

ごいなあ。) と思いました。この次は、おさむらいがつけているかぶとや、よろいの色や形もぜひ調べてみたいと思います。